

平成 30 年度京都市産業廃棄物 3 R 推進会議について

京都市産業廃棄物 3 R 推進会議（以下「会議」という。）は、平成 23 年 3 月に策定した第 3 次京都市産業廃棄物処理指導計画（以下「計画」という。）を推進することを目的として、平成 23 年 8 月 10 日から開催しています。

平成 30 年度は、3 回の会議を開催しました。

1 会議の開催状況

- 第 1 回 平成 30 年 10 月 2 日（火）
- 第 2 回 平成 31 年 2 月 4 日（月）
- 第 3 回 平成 31 年 3 月 22 日（金）

2 主な意見

（1）PCB 廃棄物の適正処理対策について

- メールマガジンであれば協力できるので、排出事業者への周知に努めていただきたい。（配信時期については）環境省のテレビ CM（平成 31 年 2 月 4 日～2 月 17 日）の終了後又は終了間際実施すると効果的であると思う。（第 1 回、第 2 回）
- 代執行には相当の負担がかかるため、掘り起こし調査を進め、できる限り件数が少なくなるように、広報に努めてほしい。（第 2 回、第 3 回）
- 新聞記事の内容をチラシにして、周知すれば良いと思う。（第 3 回）
- 同様の問題を抱えている他都市とも情報交換を密にし、良い取組があれば、いかしてほしい。例えば、処分期間が終了し、行政代執行も実施している北九州市等は、件数や費用等の情報は参考にできる。（第 3 回）
- 行政代執行の時期など、どの時期にどうなるということも広報に盛り込んでほしい。（第 3 回）
- 「今後のスケジュール」には、掘り起こし調査のみならず、PCB 廃棄物の広報に関するスケジュールも記載してほしい。（第 3 回）

（2）第 3 次京都市産業廃棄物処理指導計画に掲げた施策の進捗状況

- さんぱい施設見学会（小中学生、一般）の参加者が例年より少ない。（第 2 回）
- 「環境フォーラムきょうと」は、子ども向けの企画がほとんどだが、大人向けの企画も必要である。（第 3 回）

（3）第 3 次京都市産業廃棄物処理指導計画後の次期方針

- 現時点で一般廃棄物と産業廃棄物の計画を統合することは、次期尚早であることは理解できるが、廃棄物の一体処理が望ましいため、今後も議論は継続すべきである。（第 1 回、第 2 回）
- 次期方針の策定に向けて実態調査を行うのであれば、市内の処理業者に対して、廃プラスチック類の処理状況を調査してみてもどうか。（第 1 回）
- 実態調査を実施する際には、事前に、業界団体を通じて所属している事業者

へ話をしてもらおうと回収率は上昇すると思う。(第2回)

- 行政の指針が団体運営の指針となるので、今後も何らかのものを策定してもらいたい。(第3回)
- 都道府県の法定計画や一般廃棄物の計画，その他関連計画や指針と本計画の関係を整理して，位置付けが分かるような資料を作成してほしい。(第3回)

3 平成30年度委員名簿

(1) 委員

氏名	役職等	区分
○ いしだ はづき 石田 葉月	同志社大学経済学部教授 (資源・エネルギー経済)	学識経験者
こうの ゆたか 河野 穰	(公社) 京都工業会 業務推進役	排出事業者
こたに まり 小谷 真理	同志社大学政策学部准教授 (行政法・環境法)	学識経験者
◎ たかおか まさき 高岡 昌輝	京都大学大学院工学研究科教授 (廃棄物処理)	学識経験者
たかはし かつこ 高橋 かつ子	3R・低炭素社会検定 3R 部門合格者	検定合格者
なかがわ まさき 中川 雅貴	京都商工会議所 産業振興部 次長	排出事業者
ながた かずし 長田 和志	日本ウエスト (株) 代表取締役	産業廃棄物 処理業者
はなしま あつこ 花嶋 温子	大阪産業大学デザイン工学部環境理工学科講師 (廃棄物処理)	学識経験者
むらい たかつぐ 村井 孝次	(一社) 京都府建設業協会 京都支部 常任理事	排出事業者
やの ただし 矢野 正	公募委員	市民公募
やまぐち やすひろ 山口 靖弘	京都府中小企業団体中央会 理事・事務局長	排出事業者
やまだ かずなり 山田 一成	(一社) 京都府産業廃棄物 3R 支援センター センター長	排出事業者
わたなべ よしふみ 渡辺 義文	(公社) 京都府産業資源循環協会 専務理事	産業廃棄物 処理業者

◎委員長 ○副委員長

(五十音順, 敬称略)

(2) オブザーバー

まつやま とよき 松山 豊樹	京都府 環境部 循環型社会推進課長	行政
-------------------	-------------------	----

(敬称略)